

# 可児 工高 同窓会報

発行所  
岐阜県立可児工業高等学校  
同窓会  
岐阜県可児市中恵2358-1  
TEL(0574)62-1185

## 同窓会長 挨拶

機械科7回生 藤田幸夫



日頃、会員の皆様には同窓会活動に御支援、御協力を賜り心よりお礼を申し上げます。

昨年、同窓会長を拝命してから1年半経ちますが会員の皆様の御支援に感謝申し上げます。

さて、我々の母校は可児市にて唯一の工業高校として、多くの優秀な卒業生や熱意ある先生方に支えられ五〇年を越す輝かしい歴史を刻んでいます。五〇周年記念事業にて「ランニングコース」「スクールバス」など学校の設備も一段と向上し在校生の皆様には勉強部活動に一層力の入る環境になり「創立五〇周年記念碑」も本校南に建立されました。

可児工業高校は多くの企業より高い評価を得て地元はもとより、他県からも大きな期待を寄せられております。可児市では一人でも多くの卒業生に地元で活躍して頂ける様に学校と協力しインターンシップや地域イベント等様々な事業を施行しております。在校生の皆様には沢山参加して頂きイベン

ト会場も大盛況で、これが地元を知るきっかけになれば大変うれしく思います。五〇年を超える年月を考えますと会員の中にはお孫さんが入学してみえるかもしれない。その在校生の皆さんの活躍は大変素晴らしい。県ものづくりコンテスト「旋盤部門」「全国建設製図コンテスト」「東海マイコンカーラリー」での優勝や銀賞、「世界RCドリフト大会」では世界2位という誠に輝かしい成績を残してくれました。これら後輩の立派な活躍は社会で日々頑張っておられる会員の皆様にも大変励みになるもので大いにアピールしたい実績であり、御指導頂きました先生方の努力にお礼を申し上げます。

母校は「岐阜県第2次教育ビジョン」に向けて地域に根ざした工業高校として社会に貢献できる人材育成を目指しており、オーストラリアを初めとして国際社会を視野に入れた活動も積極的に展開し、今後の成果が大変楽しみです。同窓会として、この様な母校の取り組みに對して大いに協力してまいりたいと思えます。

最後に同窓会会員の皆様方の今後益々の御活躍と御健勝を祈念いたしまして会報発刊の御挨拶とさせていただきます。

## 校長 挨拶

江口健治郎



同窓生の皆様には、日頃より本校の教育に御理解・御協力いただき心よりお礼申し上げます。

平成二五年に創立五〇周年を迎え、早3年が経過します。同窓生の皆様に整備していただきました、多目的コート・ランニングコース・マイクロバスは、運動系部活動を中心に有効に活用させていただいております。その効果もあり本年度ホッケー部は、県の競技力強化指定を受け、この秋開催された岩手国体には、本校より2名の生徒を県代表メンバーに送り出すことができました。

また文化系の部活動においては、放送部が一二年連続してNHK杯全国高校放送コンテストに、電気システム部は8年連続してジャパンマイコンカーラリー全国大会に出場しています。さらに高校生ものづくりコンテストの旋盤作業部門では、昨年・一昨年と2年

連続で県大会優勝、平成二五年度より4年連続東海大会出場、うち平成二六年度は東海大会優勝を経て、全国大会に出場しています。ものづくりコンテスト旋盤部門においては、地域の企業と連携し、企業の熟練技術者より指導を受ける協同授業を展開しており、取り組み始めて3年でその成果が表れました。

一方学習面では平成二五年、オーストラリアのクリーブランド地区高校と姉妹校連携を締結し、インターネットを活用した交流授業やホームステイによる交流を通し、生徒の国際感覚の向上を図っています。

平成二六年度はクリーブランド地区高校の生徒二一名が来校し、翌平成二七年度は本校生徒一〇名がクリーブランド地区高校を訪問しました。そして、平成二八年度クリーブランド地区高校の生徒二一名を無事迎える事ができました。

今後も地域に期待され、また貢献できる技術者を育成してまいりますので、変わらぬ御支援・御協力いただけますよう心よりお願い申し上げます。

### 50周年記念碑



# 頑張る可児工生

ホッケー競技 いわて国体

少年男子 優勝！

機械科3年 早野 哲平  
建設工学科3年 森 涼堅

本年度10月6日～10日に行われた「第七一回国民体育大会・希望郷いわて国体」でホッケー競技少年男子の部で優勝した岐阜選抜チームに本校から3年生の早野哲平（ティフェンス）・森涼堅（オフエンス）の2名がメンバーに選ばれ出場しました。

この岐阜選抜チームは2月から県内の岐阜総合学園高校を中心に岐阜各務野高校・可児工業高校から3名ずつ補強選手を加えた25名編制で本国体に向け遠征や合宿・練習試合などを通して強化されました。



左：早野 右：森



8月下旬に行われた東海地区予選では、二五から一八名にメンバーが選抜され、本校から3年生櫻井心優（ミッドフィルダー）も加わり皆で戦い優勝し、見事本国体出場権を獲得しました。

「いわて国体」へはさらに二三名に選抜され、早野・森の2名が選ばれました。本国体では初戦の岡山県と互角の戦いで、引き分けに持ち込まれシュートアウト（SO・サッカーのPKに類似）で勝ち、次へ駒を進めることが出来ました。

2回戦目は北海道と悪天候の肌寒い中の試合でしたが、ゲーム開始から攻め、前半5得点、後半2得点としトータル7-0で準決勝へ進みました。

3回戦（準決勝）は佐賀県との戦いで相手もレベルの高いチームで前半は一進一退の緊迫した内容で0-0、後半も相手の厳しい攻撃に全員ホッケーで立ち向かい2-1で勝つことが出来、いよいよ決勝の

大舞台へ進むことが出来ました。

誰もが目指した決勝戦の場に自分達がいる現実には緊張と興奮の入り交じった中、相手も高校生トップレベル富山県、熱戦が繰り広げられました。

技術面では富山が上手でしたが岐阜も全員猛攻撃態勢で全力の迫力あるプレーで相手の本領を發揮させないままプレッシャーをかけ続け、2-1で感動の優勝を皆で勝ち取ることが出来ました。本校の2名も大活躍をし、「チーム岐阜」の一員として優勝の立て役者になっていました。

## RCドリフト世界選手権出場

機械科1年 梶田 峻介

ドリフト競技は、車輛の進行方向に対して意図的に横滑走状態を発生させ、当該滑走状態を保ちながら規定のコースを走行する競技で、走行ライン、ドリフト角度、ドリフトに入る時のクイックさ、精度、タイムリング、安定性等が審査の対象となる競技であります。競技規定は「ボディ」「タイヤ」「モーター」等、幅広く規定され、特に「安全性」に配慮したラジコンのセッティングが醍醐味となる競技でもあります。オランダ大会 World Championship RC DRIFT 2015は、各世界の代表の人達が集まり、日本からは僕を含めた6人ほどがアジア代表として参加しました。

私は4月に行われた「アジア選手権」のRWDクラスで2位になり、6月に



行われた「ワールドチャンピオンシップ」RWD（二駆）クラスとAWD（四駆）クラスに参加することができました。予選で一〇位以内に入ると決勝トーナメント進出は確定ですが、一一位～日一〇〇位までの人は敗者復活戦で決勝トーナメントを目指します。私は、RWDクラスで予選一四位でしたが、敗者復活戦を勝ち抜きベスト三二で決勝トーナメント進出を果たしました。AWDクラスでは予選6位の結果を出し、早々に進出を決めました。

調子のよかったAWDクラスですが、残念ながら2回戦で敗退してしまいました。敗者復活のRWDクラスでは、逆にどんどん調子が良くなり決勝戦まで士の対決になりました。残念ながら決勝戦では負けてしまいました。初めでの世界大会で表彰台に上がったことはとても嬉しかったです。次の大会ではAWDクラスをもっと上手く走れるようにすると、RWDクラスでは優勝目指して頑張りたいと思います。



# 進路状況

進路指導部

部長 水野 茂之

況が好調で、関東・関西圏企業の増加と製造業・建設業の求人増加などにより、本年度は6年ぶりに1000人を超える求人数となりました。

本校生徒に対する地域のみなならず他県においても期待の表れであると共に

本校の進路状況について報告いたします。ここ2年間で、8割近くの生徒が就職を希望しており例年と比べて増加傾向にあります。

卒業生の皆様のご活躍の賜物と感謝申し上げます。

一方、進学者数については、減少することとなりましたが理系4年制大学・専門学校など専門科の知識を深めた学科への進む生徒が多くなりました。

本校では進路実現100%を目指してガイダンス等を実施して、進路意識を高めると共に生徒が進路実現に向け企業・学校研究などの取り組みを精一杯行っており、卒業後就職・進学希望をしている生徒は毎年全員進路を決めて卒業しております。

また、地域の活性化、貢献を目指し企業で活躍する卒業生の方の講演なども実施し、過去5年間で県内企業就職者も5%ほど上昇しています。

これからも卒業生の皆様が築き上げた

	27年度	28年度	
求人企業数	639	697	
求人数	908	1014	
就職者数	機械科	62	61
	電気システム科	29	33
	化学技術科	27	29
	建設工学科	23	22
進学者数	機械科	10	15
	電気システム科	3	5
	化学技術科	11	7
	建設工学科	9	14

本校への信頼や期待に応えることのできる生徒を送り出せるよう努力していきたいと思っておりますので、卒業生の皆様の御支援・御指導をこれからもお願いいたします。

# 部活動の活躍

現在 19 の部活動が活躍中です。  
同窓生の皆様、応援よろしくお祈りします。

**バレーボール部** 県高校新人大会県ベスト8、県高校総体県ベスト8、中濃地区総体優勝という状況です。全日本選手権県予選ではベスト4を目指して活動しています。

**バスケットボール部** 現在47名の部員が活動しており、H28年度戦績は、県高校総体県大会ベスト16、中濃地区総体準優勝でした。また、選抜大会・新人大会が残っていますので、県ベスト4以上を目指して頑張ります。

**テニス部** H27年度、H28年度IH県予選への出場権と、H28年度新人戦県大会のベスト8をチーム全員で掴み取りました。ベスト4以上を目標とし可児市営のコートもお借りしながら、日々の練習に励んでいます。

**野球部** H27年度は春県大会出場、夏の選手権大会2回戦負け、秋季地区大会敗退でした。H28年度は春地区大会敗退、夏の選手権大会2回戦負け、秋季地区大会敗退という結果でした。「謙虚な姿勢、感謝の心」を大切に日々、白球を追いかけしています。

**サッカー部** 岐阜県リーグ3部リーグ所属、中濃地区総体2回戦敗退、という状況です。来年は2部リーグに上がることができるよう部員たちは練習に励んでいます。

**剣道部** 「生涯に通じる正しい剣道」を習得することを第一の目標とし、「将来良き親となる為の土台を作れ!!」をモットーに明るく楽しく活動しています。

**柔道部** 部員6名で活動しています。日々練習に励み土曜は加茂高校で練習するなど、活動しています。また、卒業生の方が練習に参加しご支援いただき感謝しております。

**ホッケー部** イター県予選：3位、中濃総体：優勝、新人戦：東海大会出場と人工芝のホッケーに何とかついて行けるように今後も全国目指して頑張っていきます。

**ラグビー部** 今年度成績は県ベスト8、地区総体準優勝。岡谷工業での夏合宿を経て、全国大会花園予選に向けて頑張ります!!

**卓球部** 活動方針の『強くある前に、正しくあれ』をスローガンに、卓球に限らず何事も情熱と真剣さをもって努力し、日々頑張っています。

**陸上部** 楽しい陸上をモットーに日々、心身の鍛錬に励み仲間と競い合いながら練習しています。近年は県大会でも入賞する選手が毎年おり、東海大会にも出場しています。全国大会を目指し、鍛錬と探求を続けています。

**ハンドボール部** 今年度、3年振りに地区総体で優勝することができました。現在33名の部員で、新人戦地区突破を目標に頑張っています。

**美術部** 地区高校美術展にて優秀賞4名、奨励賞1名(県高校総合文化祭へ出品) 絵画、デザイン、木彫、映像制作など、個々が表現方法を探求し作品制作に励んでいます。

**放送部** 今年度全国高校放送コンテストに出場しました。これで12年連続全国大会に出場しています。来年も継続していくとともに、もっと活動の幅を広げながら、新しいことにチャレンジしていこうと頑張っています。

**新聞部** 可児工高新聞を作成・発行しています。

**吹奏楽部** 今年は一年生が7名入部して活気が始まりました。「中恵土公民館祭」での発表会や、「可児工祭」での演奏会を目指して日々頑張っております。

**機械システム部** ものづくりコンテスト東海大会(旋盤作業部門)にも4年連続出場しています。東海大会優勝を目指して日々、練習を重ねています。その他にも、EVカー製作や、地域のイベントにも積極的に参加しています。

**電気システム部** ジャパンマイコンカーラリーでは東海地区7連覇、近年の全国大会では2年連続上位入賞しており、日々全国制覇を目標に活動しています。

**化学技術部** 県ものコン化学分析部門では9年連続入賞。可児川の水質分析や外部イベント(可児市産業フェア、公民館祭り等)にも積極的に参加しています。

**建設部** ものコン県大会(木造加工部門)は昨年度惜しくも3位。12月の県大会に向けて測量部門・木材加工部門ともに練習に励んでいます。岐阜女子大学主催の「住まいのリフォームコンテスト」で昨年度の「特選」に続いて「優秀賞」を獲得しました。

## 事務局より

### ◎収支報告について

本来であれば、同窓会報に掲載もしくは同窓会総会で御報告するものですが、経費削減のため同窓会ホームページ(以降 HP)での報告になっております。

併せて、同窓会の近況をHPにて紹介されていますので是非御覧ください。

### ◎情報提供のお願い

卒業生が各界で御活躍なさっていることと思いますが、事務局で全てを把握することができません。HPや会報でそうした皆さんの情報を発信していきたいので、御存知でしたら下記まで御一報ください。

可児工同窓会 E-mail : kaniko-doso@ma. ctk. ne. jp

